

府障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

沖繩に基地はいらない!

12・10おおさか総がかり集会

12月10日、米軍辺野古新基地や高江のオスプレイ・パッドの建設反対を求めて奮闘する沖縄県民に連帯しよう!

「沖縄に基地はいらない!12・10おおさか総がかり集会」が扇町公園で開催されました。主催は、おおさか総がかり行動実行委員会。時折冷たい風も吹く中、約4千人が参加しました。府障教の参加者は8分會9人でした。

貴重な自然の

宝庫を壊すな

集会には、参議院議員で沖



ポテッカードを掲げる集会参加者

縄の風「幹事長の伊波洋一さんも参加して連帯あいさつを行いました。伊波さんは、米軍オスプレイ・パッド(着陸帯)の建設工事が強行されている沖縄県東村高江周辺では、特別天然記念物で絶滅危惧種と言われる、ノグチゲラ」の生息が確認されていることを紹介しました。高江周辺を含む沖縄本島北部は、やんばるの森と呼ばれ、4千種もの動植物が存在する自然の宝庫です。もしこのまま、オスプレイ・パッドの建設を許してしまえば、この貴重な自然が、もの凄い爆音と振動にさらされることになる」と伊波さんは述べました。その上で、「皆さんとともに辺野古の新基地建設、高江での安倍政権の暴挙に対して厳しくたたかっていく」



パレードする府障教組合員

と訴えました。各分野からは、安保関連法に反対するママの会@吹撰

など3団体の代表が登場し、住民に対する「土人」発言を容認する松井知事に抗議する「沖縄で民主主義を実感した」テレビで伝わってこない真実を多くの人達に広げていきたいなどと発言しました。こうした訴えを受け、参加者はコールに合わせ「沖縄に基地NO!」大阪府警は沖縄から去れ」のポテッカードを一齐に突き上げました。

4野党の代表も参加

また、民進党の辻元清美衆議院議員、日本共産党の辰巳孝太郎参議院議員、社民党の服部良一元衆議院議員、自由党の渡辺義彦元衆議院議員の4野党代表も集会に参加し、それぞれ挨拶を行いました。4野党代表は、安倍政権の暴走をストップさせ、沖縄から基地をなくすために、市民の皆さんと野党は共同して安倍政権を倒すために全力を尽くそう!などと参加者に呼びかけました。

集会の最後に、沖縄県民と

全国各地でも沖縄に連帯する集会開催

12月10日は、大阪の他全国30カ所以上で沖縄に連帯する集会が開かれました。東京の日比谷野外音楽堂には

3千900人が集まり、米軍は帰れ!みんなの税金を基地に使つな」と力強い声が響き渡りました。

Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp

府障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/>



大阪府と大阪市は今年の夏に、子どもの貧困の実態を把握するため、子どもの生活に関する実態調査を実施し、その集計結果を10月に発表しました。大阪市の調査は、市内の小学5年と中学2年の子どもとその保護者、5歳児の保護者を対象とし、4万3275世帯から回答が得られました。府の調査は、大阪市・八尾市など府内13市町を除いた地域の小5と中2の子どもやその保護者8千世帯を対象に実施されました。

保護者向けの調査では、昨年1年間の家計の状況について、4世帯に1世帯が「赤字」と回答し、貯蓄をしたができている」と答えた小中学生世帯は大阪市で44%、府は35.4%にのぼりました。また、府では年収200万円以下の世帯が5.7%だったのに対して、1千万円以上の世帯が7.5%。大阪市は小中学生世帯の1割以上が年収200万円以下と、格差の拡大が明らかになりました。

さらに、小中学生世帯の約3%が、経済的理由でおよそ半年間子どもに医療機関を受診させられなかったと答えています。貧困の拡大が、子どもの健康にも悪影響を及ぼしているのです。

松井知事は、こうした実態を把握しておきながら、就学前の子どもや障害者・一人親家庭・高齢者の医療費を補助する府の制度の患者負担増を、来年2月の府議会に提案しようとしています。大阪の子どもの貧困率が全国で2番目に高い状況を考えれば、それに逆行した施策と言えるでしょう。子どもの生活に関する実態調査の結果を真摯に受けとめ、子どもたちの現状に責任を果たす府政運営が求められています。

サウンドカー先頭に府庁周辺を楽しくパレード 第26回ヒューマンウェーブ集會に500人参加



集會には500人が集まりました

開会挨拶をかねて基調報告を行った福田徹さん(府障教執行委員)は、安倍政権が昨年多くの国民の反対を押し切り『戦争法』の成立を強行させたことについて、今年11月には、駆けつけ警護の任務で南スーダンに自衛隊を

戦争と障害者のしあわせは絶対に両立しない

12月9日、大阪城公園教育塔前広場で、第26回ヒューマンウェーブ集會が開催され、500人の障害当事者・家族・関係者が参加しました。集會開会前のオープニングでは、障害当事者の青年が、自らの願いを歌詞にした歌を、自らのギター演奏にのせて披露しました。その後、参加者全員で『ケサラ』上を向いて歩こう』を合唱しました。

みんなのくらしと権利を守れ！

私のことは私が決める！

会場からも飛び入りリレートーク

リレートークでは、大阪の障害児教育をよくする会より西浦支援学校に通う生徒の保護者が、新しく学校ができても生徒が増える一方、また遠くに通学に大変。もっと支援学校の建設を」と訴えました。それに続いて、駅に稼働柵を早く作って、大阪視覚障

直接請願行動に各団体から16人が参加

害者の生活を守る会)、手話は大切(大阪聴力障害者協会)、年金下げるな、年金増や

集會と並行して行われた「ヒューマンウェーブ個人請願」提出行動には、学びの場「ぼほろスクエア」の現役学生をはじめ、各団体の代表16人が参加しました。請願行動の参加者は、府庁別館内の6階委員会議室に移動し、一人ずつ、障害当事者、家族、関係者の声を聞いてください。その声を踏まえて、大阪府の施策をすすめてください」との表題の請願書を、大阪府の担当者に手渡しました。

して「きょうされん大阪支部)、重度障害者医療費助成制度の見直しで患者負担を押し

その後、「戦争反対」「私のことは私が決める」「医療費守れ」など飛び入りの障害当事者の一言発言が続き、会場は大いに盛り上がりました。



盛り上がったリレートーク

ている。教室がなくてどうして教育ができるのか。早急に支援学校建設計画の策定を」「支援学級の在籍者数も年々2千人ずつ増えている。教育条件整備は急務」と訴えました。

みんなの願いをドラムとBGMにのせて

集会后参加者は、みんなのくらしと権利を守れ!」差別をつくる戦争反対!」私のことは私が決める!」など、みんなの願いをドラムのリズムとBGMにのせて府民に訴えながら、府庁を1周するパレードを行いました。コールする人の支援学校増やせ!」の声にこたえて、参加者が「そっや」と声をあげるといっ掛け合いも織り交ぜた楽しいパレードとなりました。

同日時刻に開催されていた府民要求連絡会が主催した府議会開会日行動のランチャイムパレード参加者が合流し、共同のとりくみとなりました。



さまざまな願いが書かれたサウンドカー

しつけないで(大阪肢体障害者団体連絡協議会)、給料あげて(障連協青年当事者の会)など、それぞれの立場から切実な要求が語られました。